

令和6年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和6年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和7年3月7日 午後1時30分から午後3時15分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学习センター 多目的交流ホール
4	出席者	唐澤委員、鈴木委員、西村委員、竹腰委員、塚原委員、宮下委員、望月委員、 宮尾委員、巻山委員、杉本委員、藤松委員
5	市側出席者	洞教育部長、三澤文化課長、宮澤中央図書館長、佐藤豊科図書館長、 富田三郷図書館長、太田堀金図書館長、徳原明科図書館長、 奈良澤課長補佐、中島副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2 人
8	会議概要作成年月日	令和7年3月12日

○会議の概要

- 1 開会 （三澤文化課長）
- 2 あいさつ （洞教育部長、巻山会長）
- 3 協議事項 （議長：巻山会長）
 - (1) 令和6年度安曇野市図書館事業報告について 資料1
 - (2) 令和7年度安曇野市図書館事業計画について 資料2、資料3
 - (3) 安曇野市図書館管理規則の一部改正について 資料4
 - (4) 安曇野市図書館視覚障害者サービス実施要綱の一部改正について 資料5
 - (5) その他
- 5 その他
- 6 閉会 （西村副会長）

3 協議事項の概要

議 長 「令和6年度安曇野市図書館事業報告」について事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料1により説明。

委 員 資料の表紙に要約した資料を付けると分かり易い。貸出し状況、秋の本まつり、
秋の読書月間、L i n e の情報発信、講演の要約筆記などの状況も分かり易くなる。

事務局 資料1は1月31日現在のもので年度末の最終報告では要約を添付する。秋の読書週
間のあづみの秋の本まつりは、司書や利用者のお勧め本を借りて頂くもので好評だ
ったので来年も継続したい。それぞれの事業に成果と課題を掲載しているので参照
していただきたい。L i n e の発信は有効だと考えている。要約筆記は市の方針で

大きな講演会にはつけるようになり好評だった。

委員 いいことをされているので年度のまとめの際は要約資料をお願いしたい。

委員 資料1の8ページの講演会の成果報告に視覚障がい者とあるが聴覚障がい者で良いか。

事務局 聴覚障がい者でお願いしたい。

委員 職場体験利用者や異業種体験参加者から図書館運営への提案や要望が何かあったか。

事務局 中学生にはカリキュラムに基づいてやって頂いている。

中央館 後日参加者からは礼状を貰っているがその中には要望はみられなかった。

明科館 図書館のカリキュラムに沿って作業をいただいたが要望はなかった。

委員 若い人たちの感性で何か感じるものがあればと思い尋ねた。

議長 「令和7年度安曇野市図書館事業計画」について事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料2, 3により説明。

議長 説明が終わりました。前回の協議会で出された意見を検討の結果すべては盛り込めてはいないが意見をいただきたいとの説明でした。何か意見がありますか。

委員 子ども読書活動推進計画によって来年度の事業に何か反映されたことはあるのか。

事務局 子ども読書活動推進計画は第2次図書館基本計画に基づき策定されている。子ども読書活動推進計画を教育振興基本計画の中に盛り込まれパブリックコメントにより意見を貰っている。成長段階によってサービス提供が定められている。

委員 先にデジとしょ信州が増えた要因に小学校の登録が増えたと同ったが、子どもたちの読書の推進になっていけばいいと思っている。

事務局 子ども読書活動推進計画によって来年度事業に何が反映してるかのお尋ねですが、新しいものを何か始めるというよりは通常やっていることをそのまま明文化しているということで理解いただきたい。

委員 郷土に関連する資料の積極的収集の記述に意気込みを感じる。家で埋もれているような貴重な資料収集にもつながれば素晴らしいと思っている。らブックで掲載の豊科地域に根差した企画の記事から資料収集に力を入れていることが分かり強く感動した。何等かの方法で地域企画の取り組みを全国規模で発信できたらいいと思う。自分の経験から資料収集には在野の研究者の取り組み協力が大切だと思っている。

議長 図書館の事業を後押しするようなご発言だと思います。

事務局 地域資料は現在も力を入れて収集している。地域情報は地元が発信基地として過不足なくしっかり発信していきたい。

委員 グループボランティア育成研修会で読書推進活動として発表会という新しい形式の取り組みを行い私も参加した。サポーター会議でも評価が高かった。今後お互いを観る機会として、又発表することでグループ活動の様子や自分のスキルも上がるので引き続き行ってほしい。

事務局 発表会がよかったと聞いている。来年度は講師を呼ぶのか発表会をするのかなど、改めて検討したい。

委員 高校に市からYA向け図書館だよりやブックリストを送って貰っていて、ブックリストを持ち帰る生徒が結構いる。リストの冊数をもっと多くしてもいいのかと思う。デジとしょ信州は、高校には市外者もいて地元の図書館に協力が必要となるので団体としての登録は難しいと思うが、小中校でデジとしょを経験して高校に上がってくれば、中学を卒業した後にIDをどうしていくのか高校に教えに来てもらうのも一つの方法かと思う。図書館フェスタでデジとしょ登録ブースを設けるのは効果があると思う。

事務局 いいご提案なのでブックリストは検討したい。フェスタのブースも検討したい。高校の団体登録が以前は出来なかったが現在は出来るようになっている。学校の登録方法は3タイプあるので、細かいことについては相談に応じたいと思う。

委員 学校の年度替わりや長期休業の直前はねらい目なので、その際にもう一度教えてもらおうと登録しやすいと思う。

議長 安曇野市図書館管理規則の一部改正について事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料4により説明。

議長 質問ご意見無いので次に進みます。安曇野市図書館視覚障害者サービス実施要綱の一部改正について事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料5により説明。

議長 質問ご意見無いので次に進みます。その他に移ります。事務局から何かあればお願いしたい。

事務局 特になし。

議長 全体について発言の無い委員から発言をお願いします。

委員 読み聞かせ団体から大型絵本を借りる時に一緒に借りる台があるが直ぐに返して

ほしいといわれるが、練習にも借りられないようなのでもう少し借りられるように
はならないかと相談があった。

事務局 数に限りがある。中央図書館は毎週使用していて使用頻度があるが、購入となれば
予算もあるので現状を確認していきたい。

委員 どの事業も広報での伝え方が大事だと思っているので、そこを考えて行ってもら
えるとありがたい。

委員 名作DVDと大活字本を増やしてほしい要望を利用者から受けた。

事務局 名作DVDは許諾が図書館で個人貸出しがあるものに限られる。大活字本は分冊
になるので各館で回して新しいものが目に触れるように配慮している。ご意見は今
後の選書に役立てていきたい。

委員 コロナで利用者が減っている、また新しい人を取り込むにはどうしたらいいのか、
その点はどこでも悩んでいるようだ。利用者の求めと図書館のやっていることのず
れが生じていることもあると思う。各館長が受けているクレームにヒントがあるか
もしれないので、思い当たることがあれば教えてほしい。

中央館 蔵書の分類場所のお尋ね、空調の寒暖に対する申し出、自習している人が騒いで
いる事のクレームなどがあった。

豊科館 スマホ充電や駐車場のラインが消えている事のクレームがあった。

三郷館 クレームはない。温かくいつでもだれでも迎えるように目指している。

堀金館 クレームはない。予約や相貸でお待ちいただく折に一言いただくことがある。

明科館 大きなトラブルはない。

委員 図書館事業の多さに驚いたが、図書館の事業への思いをどれだけ利用者が分かっ
てもらっているのか疑問も感じる。人を繋げたり子育て支援をするなど図書館の意
義を考える必要があるし、図書館に足を運んでもらう気持ち作りが大事だと思っ
ている。自分も保育で進めていきたいと思っている。子どもにきちっと読み聞かせし
てあげるのは大切でその環境も作っていききたいし、子どもたちがおはなしの世界に
入っていく時間と、場所と、大人の力がそろって環境を作っていくことが大事だと思
っている。子どもが心を作っていく時に合わせてチャンスを作っていくことが大事。
子どもも大人も楽しめる講演会があると面白いと思う。有名作家の追悼イベントが
あると面白いと思う。

委員 読書の勧めやクレームは日々の司書業務の中でも胃が痛い思いがある。読書スキ

ルの高い人間はごく一部に限られていると講演で聞いた。沢山の人が困ったときに受け皿になれる図書館であることを考えないといけないと思っている。本の使い方に色々な種類があることを分かってもらい、人生の山場が来たときに図書館を有効に使って貰えるようになるといいと思う。ソーシャルスキルトレーニングにボードゲームが有用だと考える方が結構居て、コミュニケーションを図る手段としても活用できるため図書館に備えて貰えると嬉しい。

委員 本を大事にしている人とそうでない人との本への価値感に差が出てきていると感じている。イベント告知方法や両親の多忙の中で、答えは出ていないが図書館に来てもらえる方法を考えていかないといけないと思っている。

委員 ブックリストを三郷小全校に配ったら好評だった。依頼して作るのも自分で作ろうと思ったが著作権の関係で難しいとの事なので今悩んでいる。読書通帳も好評だったので勧めている。子どもには図書から考える力を養っていただけたらと思っている。

委員 今年安曇野市内で開催された図書館教育研究大会の講演の中身が、学びと心のよりどころとなる学校図書館、サブテーマが学校内外の連携による読書、学習、情報センター機能の構築を目指して、であった。聴講していた学校司書が、図書館の読書センターと学習センター機能はイメージできるが、情報センター機能も必要である、と講師から示唆をいただいたとの事でした。子どもたちに直ぐに情報が入ってこられるような、図書館はそんな機能もこれから必要なのではないかと。子どもたちの10年20年後を見据えて使えるものは何でも使う、提供できるものは何でも提供する。紙でもデジタルでもギガスクールによってそれが可能になったと、講師からまとめて頂いた。子どもの本離れを埋めるためにも学校と図書館がつながっていかなければと思う。

事務局 地域の皆さんに頼ってもらえる図書館としていきたい。頂いた意見を参考に司書一人ひとりの考える機会ともしていきたい。

議長 協議は以上で終了となります。

以上